

葛城市議会だより

- 12月議会(12月8日～21日)議案の審査と結果 … 2～4
- 9人の議員が一般質問で市政を問う …… 4～8
- 付託議案の審査 常任委員会で質疑 …… 9～11
- 各議員の賛否の状況 …… 11
- 議会トピックス、編集後記 …… 12

No.28

竹内街道 日本遺産認定
横大路(大道)



葛城市文化協会「當麻 写真クラブ」提供

■ 発行 葛城市議会 ■ 編集 議会だより編集委員会
〒639-2195 奈良県葛城市柿本166番地 TEL. 0745-69-3001
<http://www.city.katsuragi.nara.jp/>

本会議や委員会の詳しい内容につきましては、市ホームページの「葛城市議会」に会議録を順次掲載します

議案審査

平成29年第4回定例会を12月8日から21日までの会期で開催しました。

本定例会では、人事案件、条例の一部改正、平成29年度補正予算など様々な議案を審議しました。

議会審議日程

11月29日 議会運営委員会

平成29年第4回定例会

12月8日 本会議（議案提案）

12日 本会議（一般質問）

〃 議会運営委員会

13日 本会議（一般質問）

15日 総務建設常任委員会

18日 厚生文教常任委員会

21日 議会運営委員会

〃 本会議（議案採決）

議案の主な内容と結果

各委員会への付託議案の審査内容は9ページ～11ページをご覧ください。

人事案件

議第68号 葛城市教育委員会委員の任命について

本会議で全会一致により同意

高木 希容子 氏（忍海）

条例関係

議第69号 葛城市防災行政無線施設条例の一部を改正することについて

総務建設常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

有線設備及びアナログ防災行政無線設備を統合し、新たにデジタル防災行政無線設備を整備することにより、防災行政無線の業務区域を旧當麻町地区から市内全域に拡大し、戸別受信機を本市の住民基本台帳に記録されている1世帯につき1台を無償貸与し、増設分・事業所等については、有償譲渡する改正等を行うものです。

議第70号 葛城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて

総務建設常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

「人事院規則」等の改正に伴い、非常勤職員に関し、2歳に達する日までに育児休業することができるとき子の養育の事情を考慮して特に必要と認められる場合として条例で定める場合などの規定について、国家公務員の規定に準じた規定に改めるものです。

議第71号 葛城市税条例の一部を改正することについて

総務建設常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

「地方税法」の改正に伴い、個人の市民税について、控除対象配偶者の定義の変更による規定の整備を行うものです。

項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正することについて

総務建設常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」の改正に伴い、当該法律の題名が改められたことによる条例の題名の改正及び条文の条ずれの対応、その他文言の整理を行うものです。

議第73号 葛城市営住宅条例の一部を改正することについて

総務建設常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

「公営住宅法施行令」及び「公営住宅法施行規則」の改正に伴い、条文の条ずれの対応、市営住宅の所在地の改正、その他文言の整理を行うものです。

議第82号 葛城市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正することについて

議第72号 葛城市企業立地の促進等及び活性化に関する法律第10条第1

総務建設常任委員会に付託し、審査の後、本会議で賛成多数により可決

人事院勧告による国の給与改定等に準じて、本市の議会議員の期末手当を引き上げる改正を行うものです。

議第83号 葛城市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

総務建設常任委員会に付託し、審査の後、本会議で賛成多数により可決

人事院勧告による国の給与改定等に準じて、本市の常勤の特別職の期末手当を引き上げる改正を行うものです。

議第84号 葛城市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

総務建設常任委員会に付託し、審査の後、本会議で賛成多数により可決

人事院勧告による国の給与改定等に準じて、本市の一般職の職員の給料、勤勉手当を引き上げる改正を行うものです。

予算関係

議第74号 平成29年度葛城市一般会計補正予算(第6号)の議決について

それぞれの常任委員会に関係部分を分割付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

主な補正内容は、人事異動等に伴う人件費の補正、前年度確定額に伴う生活保護費国庫負担金返還金、10月22日から23日にかけて日本列島を通過した台風21号の影響による災害の復旧事業費の追加等です。

議第75号 平成29年度葛城市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の議決について

厚生文教常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

補正内容は、平成28年度の国庫負担金等の精算に伴う償還金及び一般被保険者高額療養費の追加等です。

議第76号 平成29年度葛城市介護保険特別会計補正予算(第2号)の議決について

厚生文教常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

補正内容は、人事異動等に伴う人件費の補正です。

議第77号 平成29年度葛城市下水道事業特別会計補正予算(第1号)の議決について

厚生文教常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

補正内容は、人事異動等に伴う人件費及び工事請負費の追加等です。

議第78号 平成29年度葛城市学校給食特別会計補正予算(第2号)の議決について

厚生文教常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

補正内容は、人事異動等に伴う人件費及び学校給食運営委員会の委員報酬の追加等です。

議第79号 平成29年度葛城市霊苑事業特別会計補正予算(第1号)の議決について

厚生文教常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

補正内容は、霊苑返還申出者の増による霊苑償還金の追加です。

議第80号 平成29年度葛城市・広陵町介護認定審査会特別会計補正予算(第1号)の議決について

厚生文教常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

補正内容は、人件費の追加及び賃借料の減額です。

議第81号 平成29年度葛城市水道事業会計補正予算(第1号)の議決について

厚生文教常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

主な補正内容は、台風21号の大雨災害により、取水池の原水が不足し、県営水道受水費の追加等を行うものです。

12月議会の議案審査

議第85号 平成29年度葛城市一般会計補正予算(第7号)の議決について

総務建設常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

議第86号 平成29年度葛城市介護保険特別会計補正予算(第3号)の議決について

議第87号 平成29年度葛城市下水道事業特別会計補正予算(第2号)の議決について

議第88号 平成29年度葛城市学校給食特別会計補正予算(第3号)の議決について

議第89号 平成29年度葛城市・広陵町介護認定審査会特別会計補正予算(第2号)の議決について

議第90号 平成29年度葛城市水道事業会計補正予算(第2号)の議決について

以上5議案については、厚生文教常任委員会に付託し、審査の後、本会議で全会一致により可決

主な補正内容は、いずれも人事院勧告に伴う人件費の追加です。

意見書

次の意見書を本会議で全会一致で可決し、内閣総理大臣他関係機関に送付いたしました。

■ 道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律に基づく補助率等の高上げ措置の継続等に関する意見書

国の財政上の特別措置が平成29年度末をもって期限を迎えるため、平成30年度以降も特別措置が継続されるとともに、地方創生推進のために真に必要な道路については、補助率等を拡充されるよう、国に対し要望するものです。

議案を傍聴してみませんか

※本会議及び委員会(一部除く)は傍聴することができます。議員の活動や市議会の様子を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

また、平成29年9月定例会より会議模様のインターネットライブ中継を実施しております。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。市のホームページの「市議会」のページをご覧ください。



増田 順弘

台風21号における被害状況と対策について

問 被害状況と復旧のめどは。

答 市内全域で被害箇所数が、12月8日時点で、道路、林道、農地、山林、ため池等の崩壊や崩落で85件、現時点での被害額は約2億4千万円を見込んでおり、多分過去最高の被害額になると予測している。今後の復旧手順については、生命や財産に対する危険等、緊急性が高いと判断しているところを優先して年度内をめどに順次進める予定である。

問 被害の中でも、山林の崩壊による河川への土砂の堆積も多く見受けられるが、太田川流域においては以前から、集中豪雨の度に下流域の中戸、弁之庄、足田、尺土地域では、冠水や浸水の危険性の高い河川であり、早急な土砂の除去が望まれるが。

答 今回の被害の中でも、特に太田川の土砂の堆積量が非常に多く、危険な状態であることから、被害対策を県に要望して、一応中戸から弁之庄区間について緊急対策として土砂の撤去を行っていただき、下流域に

ついては、予算が確保出来次第実施するという報告を県から受けている。また、その他の河川についても、速やかなる対処の要望を、強く県に求めてまいりたい。

問 被害は、山麓エリアに集中しているが、良好な景観保全と環境にふさわしい土地利用の活用を進めるとされているこのエリアの対策を今後どのように進められるのか。

市長 山麓エリアについては、緩衝的な働きがあると理解している。公共施設等をもっていくべきではないと認識しているが、平坦部の被害減になるような、住民の安全を確保できるような方法を、新たなシステムの構築とともに考えていきたい。

要望書様式の統一化について

問 私の前回の一般質問においてお願いをした要望書の統一化について、早速取り組んでいただいたが、どのような内容か。

答 新規または拡張を伴う工事で、一定規模費用のかかるものを対象とした大字要望書と、カーブミラーや市道の補修などに関する、市道等補修箇所届出書に分け、市に提出していただくもので、これによって、限られた予算の中で、各大字の要望に対して偏りなく公平に配分していく。

ここが聞きたい 一般質問



岡本 吉司

公共施設の耐震化について

問 本年3月葛城市公共施設等総合管理計画が作成されました。本市の広域避難所は13施設が指定されていますが、そのうち耐震診断が行われていない施設があるのかお尋ねします。

答 小・中学校の体育館の7施設につきましては耐震化工事が完了しています。また當麻スポーツセンター、コミュニケーションの3施設につきましては、新耐震基準の施設であり、残る市民体育館、新庄スポーツセンター、いきいきセンターの3施設につきましては、旧耐震基準の施設となっております。

問 今後の耐震診断の計画についてお尋ねします。

答 市民体育館につきましては、今年度耐震診断実施予定でございます。残る新庄スポーツセンター並びにいきいきセンターにつきましては、全体施設の状況等を勘案した中で計画的に実施していく予定でございます。

問 市民体育館につきまして本年度耐震診断実施予定とのことですが、建築後40数年経過して現在雨漏りも多数しているように聞いておりますが、建物を建替えるという考えはないのか、お尋ねします。

答 耐震診断の結果を踏まえて、建築物の状況、費用比較等行いながら総合的に検討してまいりたいと考えております。

岡本 今後災害発生時には、障害者、高齢者の方も安心して避難できる場所を確保するという意味においても現状の施設の維持管理以上のことも考えていかなければならないと思います。耐震改修はもちろんのことトイレの洋式化、夏場の冷房設備の設置等も含めて考えた場合、非常に大きな費用も見込まれるところでございますので、施設の

の統廃合あるいは施設の複

合化も含め検討いたただきたいと思



▲ 市民体育館



松林 謙司

広域避難所の耐震化について

問 広域避難所のうち、特に3カ所の体育館施設の耐震状況は。

答 耐震性が確保されていると言われる新耐震基準によるものが、當麻スポーツセンターの1施設、又旧耐震基準によるものが、葛城市民体育館と新庄スポーツセンターの2施設。

松林 新耐震基準に満たない広域避難所の建物、施設は一日も早い耐震化を進めて頂く様に強く要望する。

問 平常時は、体育館として又、災害発生時は、広域避難所として暑さ、寒さ対策、熱中症対策として冷暖房装置もしくは、スポーツクーラーを複数台設置する考えはあるか？

答 3体育館とも空調設備は無くスポーツクーラーの設置については、今後費用対効果を含めて配置の是非を検討する。

大字兵家イトーピア地区の新たな投票所開設について

問 新たな投票所開設の要望を頂いた背景には、少子高齢化という社会背景が影響していると思われるが葛城市と兵家イトーピア地区内それぞれの高齢化率をお示し願いたい。

答 高齢化率は、葛城市が、約26.9%、兵家イトーピア地区内で約49%となっている。

問 新たな投票所開設の要望のお声は、投票に行きたくても行けないという高齢者自身のお声ではなからうかと思うが今後、投票環境の改善に向けて兵家イトーピア地区内に新たな投票所を開設して頂けるのか？

答 現時点においては何ともお答えしかねる点もあるが、葛城市の投票環境全般については、特に高齢化対応などは、市全体の問題として受け止めて整理統合等再編を行う際は調査を行っていく考えである。

デマンド型交通導入に際しての利便性の確保について

問 デマンド型交通導入の進捗状況は。

答 平成31年4月の改編を視野に入れ、運用形態に係わる全体的な見直しの検討を法定協議会で進めている。

問 デマンド型交通が導入された場合、大和高田市立病院まで運行できるのか又、御所の済生会病院まで運行出来ないのか。

答 大和高田市立病院についてはルート存続を前提に考えているが、御所の済生会病院までの運行については、制度上できない。

一般質問

※一般質問の内容については本人の責任において会議録を要約したものです。



谷原 一安

新道の駅建設事業の違法支出問題

問 3, 500万円の違法支出について返金を求める監査勧告が10月30日に出たが、どのような措置を検討しているか。

答 前市長および前副市長、関係事業者に対して損害賠償請求などの民事責任を追求すべく作業中である。

問 監査結果が公表以前に漏えいし、返金を請求されている事業者が監査結果公表前に監査事務局にその内容について抗議にきたと聞いている。ゆゆしきことであるが事実か。また、情報漏えいについて調査したか。

答 不用意な対応をした職員がいたことについて確認している。厳重に注意しながら規定に基づいて適切に対応したい。

問 3, 500万円の不正支出に係わった職員の綱紀粛正をはかるためにも、不正行為に携わらせた前市長・前副市長の背任行為について法的責任を追求すべきではないか。

答 背任行為を含めた刑事罰については市政検討委員会の答申に基づいて着実に手続きを進めている途中で

ある。

国保事業の県単位化について

問 奈良県下12市中、最も低い葛城市の国保税率は県単位化でどのようになる見通しか。

答 奈良県は県民負担の公平化の観点から、県内どこでも保険料水準が同じになることを目指している。そのため、葛城市の保険税は段階的に引上げられることになる。

谷原 葛城市には病院がないなど、地域で医療水準が異なっているにもかかわらず、負担だけを公平にすることは不公平である。大きな負担を市民に求める県単位化に反対するとともに、負担軽減措置を求める。

子ども医療費窓口支払廃止について

問 子ども医療費の窓口支払いが残っているのは奈良県をふくめて7県のみである。なぜ廃止できないのか。

答 窓口支払いを廃止すると、国庫負担金の減額措置をうけるため、奈良県にとって大きな財政負担になる。

問 国は就学前の子どもの医療費の窓口支払いについては財政上のペナルティを外す方針をだした。奈良県はどう対応しようとしているのか。

答 平成31年4月を導入予定に、就学前の子どもの医療費窓口支払いを廃止することを現在検討している。



内野 悦子

子育て支援について

問 葛城市の私立幼稚園・就園奨励費補助の内容について伺う。

答 市内在住の保護世帯・非課税世帯の3歳から5歳児を対象に設置者に対し補助を行う。本市は設置者に対し年間2万円の補助を行っている。

問 他市町村と比べ補助額が低いと思うが、見直しをして頂きたい。

答 奨励費の見直しは考えていく。

問 学童保育について現状と課題は。

答 年々児童が増加傾向にあり保育所が手狭になってきている。学校の施設を利用してある所もあるがそうになると、指導員の確保も課題となる。

問 人数も増え手狭の中にあつて出入り口も一つ。危機管理体制は大丈夫か。

答 放課後クラブガイドラインでは出入り口に関しては特に問題はないが危機管理体制については、迅速な対応が出来るよう指導していく。忍海小学校の学童保育所についてはフェンスに避難口をつけ運動場に避難できるように対応する。

問 指導員と先生の連携、小学校施設

設を借りるなどがあるが、学童保育を教育部に移動する検討の余地はあると思うが市長の見解を。

市長 一番連携がとりやすい方法を模索、段取りをしている。

市営合葬墳墓・納骨堂について

問 社会の様相も変わり、少子高齢化・核家族が進む中、安心して人生の最期を迎えるために、市営納骨堂・合葬墳墓の建設についての考えはあるか。

答 この内容は初めてなので研究するに値する課題であり期間が欲しい。

問 中学生を対象とした、ピロリ菌抗体検査と除菌までの実施をして頂きたいが。

答 本市は、19歳からピロリ菌検査を実施しているので中学生にも重要性を認識してもらい啓発に努める。

問 がん教育の普及啓発が位置付けられているが、がんに対する正しい知識と理解を深めるため小・中学校

答 今後外部講師も活用し、がん教育を進めていきたい。

教育長 平成32年度からがん教育が完全実施。教諭がしっかり勉強し健康教育の充実を図り正しい知識と命の大切さを考えさせていきたい。

※1 合葬墳墓 多数の遺骨を共同で埋蔵する墓のこと。お墓の承継者がいない方や承継に不安がある方でも安心して利用できる。



吉村 始

尺土駅周辺の整備について

問 葛城市民が市の発展を実感できる場の一つが、鉄道の玄関口である尺土駅だ。現時点の進捗状況は？

答 駅東側部分の建物取り壊し完了に伴い、今年度末の完成に向けて工事を行う。未買収の用地等については、現在も交渉中だ。

問 尺土駅前の東西道路の整備に伴い、今後は南北道路との接続が課題となる。東側は東の川沿いの道、西側は尺土池西側の道。駅前整備に伴って車の交通量が増えれば、通行上の安全面が懸念される。また、磐城第二保育所東側の道を延伸整備できれば、葛城市の南北軸の改善につながる。かねてから計画のあった弁之庄・木戸線の現状は？

答 同線は現在、市の都市計画マスタープランにもあるが、多額の費用がかかる。国の補助事業や県の支援などあらゆる方策を考えた。

問 駅南出口のエレベータ設置を望む声がある。先行工事でできないか？

答 駅前広場の設計上、エレベータのみを設置するのは不可能だ。

問 工事の全体事業費および測量設計と補償鑑定等の委託料は？

答 全体事業費は約18億8千万円を想定。委託料は、これまでに約1億2千万円を執行している。

問 尺土駅を中心とした葛城市全体のまちづくりの見通しについて。

市長 駅前広場等整備事業は優先度が高く、合併の象徴的な事業だ。急いで完成させたい。南北の道についても、新たな事業として取り組んでいきたい。

新町周辺スポーツゾーン整備と今後の運営について

問 新庄第1健民運動場と新町公園球技場の芝生が相当傷んでおり、張り替えの要望があるが、市としての見通しは？

答 計画はある。天然芝、人工芝の判断や施工時期など検討中だ。

問 芝生の維持管理には、相当の費用がかかる。使用有料化の必要性など、どのように考えるか？

答 市内全体の施設とのバランスを含めて、検討課題としたい。

問 老朽化した施設の改修や、新規トイレの設置を望む声大きい。

答 新庄第1健民運動場のスタンド席上の施設全体の改築やトイレの洋式化を予定している。



奥本 佳史

公共バスの防犯対策利用について

問 毎年PTAから要望のある、国道歩道への街灯設置が進まないのはなぜか。一部で不審者の出没や拉致未遂事案も発生し、不安の声もある。

答 これまで国道設置後に道路照明灯を新設した実績は無く、実現は難しい。大字間の街灯設置も進んでいないので、平成28年より市主導の街灯設置の取組みを行っている。

問 街灯設置対応がすぐに進まないのなら、コミュニティバスを防犯対策として活用することはできないのか。平成17年に政府が「登下校時における児童・生徒の安全確保のための路線バス等の活用について」という通達を出し、全国で多数のコミュニティバスを通学利用している事例がある。

答 法的に利用を制限するものはないが、本市のコミュニティバスは交通弱者対策で運行している主旨より、原則通学に利用しないよう指導している。今後、地域公共交通活性化協議会の論点として取り上げたい。

問 交通弱者対策であれば、中学生も交通弱者に入ると思うのだが。

答 買い物や公共施設の利用を想定しており通学利用は想定していない。

奥本 現在、空気を運んでいると揶揄されるほど利用者が低迷しているコミュニティバス事業だが、貴重な税金を投入して運行している以上、それなりの効果は必要である。様々な世代・ニーズに対応できるように、本気で事業の再編、見直しに取り組んでいただきたい。

プログラミング教育について

問 平成32年度より、小学校を始めとしてプログラミング教育が必須化される。全国では既に、民間事業者と連携して独自に取り組む事例が溢れているが、本市の状況は。

答 現在、具体的な取組み事例は無く検討中。

問 プログラミング教育は、プログラマーを養成するものではなく、論理的な思考を養成するもの。旧二町時代のように、先進的な教育への取り組みを進める教育ビジョンを伺う。

教育長 ICT機器に依存するだけでなく、紙と鉛筆でできるプログラミング教育も考えていきたい。

奥本 葛城市が教育のトップランナーになれるよう頑張ってください。

※2 プログラミング教育 自分が求めることを実現するために、必要な動作や記号、またそれらの組み合わせを考え、どのように改善すればより意図したものに近づくのかという論理的思考を育てる教育。

ここが聞きたい 一般質問



杉本 訓規

給食センター侵入路について

問 給食センターから市道鈴原・二塚線へ入る侵入路が幅員4メートル程しかなく、大変見通しが悪く危険である。建設計画の時点で拡幅工事の予定はなかったのか。

答 給食センター建設を優先し建設工事を完了してから拡幅工事をする予定だった。

問 寺口地内をループ状にするという国庫補助の事業に乗せて拡幅工事をする予定だったのでは。

答 給食センターまでの区間だけの改良工事では、地元としては了承できないという旨のご意見をいただいております、進展していません。

問 地元の方々、従業員の方々の通勤、帰宅、なにより子ども達の給食配送するトラックが通る道なので早くに給食センターまでの道路だけでも拡幅工事が必要なのではないか。

答 給食センターの道はどの程度の道幅で整備するのがいいのかも含めて事業化については、これから考えていきたい。

学童保育について

問 保護者の方々は、学童保育所の開設時間の延長を希望されている。遠方で働いておられる保護者の労働サポート観点からも開設時間の延長を実施できないのか。

市長 学童保育については問題の多い事業だと感じているが、時間延長のご意見は真摯に受け止めたい。

問 学童保育所で、子どもたちが狭い教室で過ごしていると保護者の方々から聞いているが、どのような対応をされているのか。

答 現在、小学校の図書室等を借りるなどして学童保育を受けている。

問 学童保育の施設の整備についてどのような対応をしているのか。

答 平成28年度には新庄北小学校区学童保育所を設置した。磐城小学校学童保育所については来年度の整備で充足できると理解している。

杉本 市民皆様のご要望・ご希望をしっかりと反映し、葛城市全体で市民サービスの格差がないようにしていただきたい。そして、他市と比較しても子育て施策が充実したまちだと思ってもらえるように、日々努力をしていただきたい。



藤井本 浩

大人のラジオ体操普及について

問 10月の市議選で選挙公報に掲載したところ、反響が大きかった。市内の普及状況は。

答 最近ではDVDも発表され、話題にもなっている。計算つくされた全身運動である。市内では木戸池公園で毎朝実施されている。

問 指導者派遣もしてくれる「ラジオ体操積極タウン構想」の考えは。

教育長 最近では学校でも昔ほど積極的に勧めていない。しかし、教育委員会としては今後、勧める方向で考えていきたいが、なかなか難しい。

藤井本 葛城市は公園の多い街だ。効果を認めるのであれば、公園スピーカーを使って普及に努められたい。

学校給食について

藤井本 先の9月議会でも質問したが奈良県及び大阪府の学校給食会指定業者でない大阪府の業者に、米飯を委託した事に私は大きく問題視している。他事業への影響を懸念する。

問 この大阪の弁当業者（ISO22000取得）に変更する為に、市の教育基金を900万円近く取り崩

された。そこまでやられた結果、この3カ月間の異物混入の状況は。

答 9～11月に4件発生した。内容は毛髪、金属片、虫、黒い異物であったが、検品に一層努力してもらおう。

問 この内容であれば、以前葛城市が委託していた市内業者や県内の業者より改善されたとは到底言えないのではないか。

答 ゼロはありえない。

問 では、食べ残しの状況は。

答 昨年と横ばいである。

藤井本 異物混入は減らない。食べ残しは減らない。費用だけが上がっている。何のメリットがあるのか理解できない。市民と一緒に議論しなかつたところに原因がある。

奈良県学校給食会も体質を変えないといけないという課題もある。しかし、給食会の中で今後も取り組む必要があると持論をもつ。全国をみると、学校給食会の過渡期にきていると思う。理由は食べ残しが多い事が大きな問題といえる。私は、これから目指すべきは「おいしい給食」と考える。全国学校給食甲子園や超人シェフクラブ等にも挑戦願いたい。学校ライフが変わる、そして美味しい学校給食から将来のご当地葛城グルメを目指してほしい。

12月定例会各委員会報告

12月定例会

総務建設常任委員会 報告

12月15日 開催

付託された10議案について、左記の通り審査いたしました。



議第69号 「葛城市防災行政無線施設条例の一部を改正することについて」

問 戸別受信機の有償譲渡を受ける場合の実費負担額について伺いたい。また今回の条例改正は、旧富麻町地域のアナログ防災行政無線について規定している条例を改正するものであるが、旧新庄町地域の有線放送設備に関する規定については、どのような手続きをされるのか。

答 有償譲渡する場合における実費負担の金額は4万円程度となる。また、旧新庄町地域で運用している有線放送設備については、条例ではなく規則で、その内容を定めているので、今後、必要な規則改正を行いたいと考えている。

討論なし

議第70号 「葛城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて」

質疑、討論なし

議第71号 「葛城市税条例の一部を改正することについて」

若干の質疑あり 討論なし

議第72号 「葛城市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正することについて」

質疑、討論なし

議第73号 「葛城市営住宅条例の一部を改正することについて」

若干の質疑あり 討論なし

議第82号 「葛城市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正することについて」

質疑、討論なし

議第83号 「葛城市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正することについて」

質疑、討論なし

議第84号 「葛城市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正することについて」

質疑、討論なし

議第74号 「平成29年度葛城市一般会計補正予算(第6号)の議決について」

問 災害復旧費の工事請負費において、今回の補正予算に計上された金額の根拠と現時点における被災箇所への復旧状況と今後の見通しについて伺いたい。

答 この度の台風災害における被災箇所の危険排除のために必要な費用として、先の第3回臨時会において承認いただいた専決処分した分と今回の補正額をあわせて約2億4千万円を計上しており、おおむね緊急対応が必要な分は予算計上できている。今後、国の予算の獲得をはかりながら整備する箇所、また、事業費の精査の必要があるものについては、3月定例会において補正予算、もしくは、新年度当初予算に計上していくことになる。今回、予算計上した復旧工事については年度末の完了を目指して進捗をはかる。



▲ 中戸新池 (被災直後)



▲ 中戸新池 (現在の様子)

各委員会報告

問 国の補助対象とならない被災箇所への対応は。

答 その場合は、まず現場をしつかりと把握して、災害箇所を確認し制度的な整理をした上で関係者の方と個別に対応していきたい。

問 歳入の市債合併特例債で、なぜ今の時期に特例債ができてきているのか、また合併特例債の全体額、現時点での執行予定額および残額について伺いたい。

答 平成29年度の当初予算編成時は平成28年度の決算が確定していないこともあり、合併特例債の充当可能な対象事業については通常債で予算計上しているが、合併特例債の発行期限は平成31年度末となっており、現時点での発行実績を鑑みると発行可能額の満額に迫ってきている中、葛城市の財政にとつて、より有利になる方法を勘案した結果、道路新設改良事業費に充当することが望ましいと考慮し、今回の補正で財源振替を行ったものである。合併特例債の発行上限額は99億9千万円と設定しており、平成28年度末の実績額に平成29年度への繰り越し事業分を含めると現在、98億1,020万円の執行額を見込んでいる。今回の補正で新たに道路新設改良事業費に1億

3,140万円を充当することにより、現時点での特例債の残額は4,840万円になる。

討論なし

議第85号 「平成29年度葛城市一般会計補正予算(第7号)の議決について」

質疑、討論なし

厚生文教常任委員会 報告

12月18日 開催

付託されました13議案について、左記の通り審査いたしました。

議第75号 「平成29年度葛城市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の議決について」

質疑、討論なし

議第76号 「平成29年度葛城市介護保険特別会計補正予算(第2号)の議決について」

若干の質疑あり 討論なし

議第86号 「平成29年度葛城市介護保険特別会計補正予算(第3号)の議決について」

質疑、討論なし

議第77号 「平成29年度葛城市下水道事業特別会計補正予算(第1号)の議決について」

若干の質疑あり 討論なし

議第87号 「平成29年度葛城市下水道事業特別会計補正予算(第2号)の議決について」

質疑、討論なし

議第78号 「平成29年度葛城市学校給食特別会計補正予算(第2号)の議決について」

若干の質疑あり 討論なし

議第88号 「平成29年度葛城市学校給食特別会計補正予算(第3号)の議決について」

質疑、討論なし

議第79号 「平成29年度葛城市霊苑事業特別会計補正予算(第1号)の議決について」

質疑、討論なし

議第80号 「平成29年度葛城市・広陵町介護認定審査会特別会計補正予算(第1号)の議決について」

質疑、討論なし

議第89号 「平成29年度葛城市・広陵町介護認定審査会特別会計補正予算(第2号)の議決について」

質疑、討論なし

議第81号 「平成29年度葛城市水道事業会計補正予算(第1号)の議決について」

問 収益的支出における受水費が2,530万円の増額となっている理由について伺いたい。

答 10月の台風豪雨の影響により、中戸新池の堤の法面崩壊などが発生し、11月以降において、市内取水池



の原水不足が生じることになった。そのため、過去の取水量をベースに算出した結果、今年度においては、月当たり3万6千トンの5カ月分、合計18万トンの原水が不足することとなり、その不足量に県水単価である130円を掛け、2,530万円と積算した。

問 原水不足となる取水池のうち、中戸新池について、今回の不足分を県水からの受水に頼るのではなく、市内のほかの取水池から補うことはできないのか。

答 現在、新庄浄水場は、中戸新池から取水しているが、ほかにも山口地区や寺口地区などからも地元の皆さまのご協力によって取水しており、県水からの受水は必要最小限に抑えさせていただいている。ただし、今後、夏場の農繁期の時期には、田畑への受水が優先されることになるので、なかなか余剰水を配分することとは難しくなってくると思われる。

討論なし

議第90号 「平成29年度葛城市水道事業会計補正予算(第2号)の議決」

質疑、討論なし

議第74号 「平成29年度葛城市一般会計補正予算(第6号)の議決について」



▲ 磐城幼稚園

問 磐城幼稚園に係る測量設計委託料2,500万円が予算計上されているが、周辺一帯の全体構想及び今後の予定はどのようなものか。

答 磐城幼稚園を含む周辺一帯の全体構想については、今回の設計の中で検討していくところである。また、今後の予定については、最速で進めば本年度中に磐城学童保育所の実施設計を行い、平成30年度に磐城学童保育所建設及び周辺工事を実施すると共に、磐城幼稚園舎の改築工事の準備を行い、平成31年度より、約2ヶ年事業として磐城幼稚園舎の改築工事に着手したいと考えている。

問 磐城地区校区の児童数が増加しているが、磐城幼稚園の教室数について今後の見通しは。

答 教室数については、現在の8教室から9教室へ増やすとともに、人口動態調査や市の出生率等を鑑み、将来的に子どもが増えた場合でも教室を増やせるような設計を検討して参りたい。

問 磐城幼稚園改築に伴う補助金はどうのようなものを申請する予定か。

答 磐城幼稚園については耐震診断の結果、耐震基準に満たしていない箇所があることに加え、在園児童から算出した建物の必要面積よりも建物保有面積が小さいことから、国庫補助の不適合改築事業に該当する為、今後、申請をする予定である。また、補助率は三分の一となるものである。

討論なし

※附帯決議案提出あり

賛成少数で否決

臨時議会を開催

平成30年第1回臨時会を2月19日に開催しました。

本臨時会の詳しい内容については、次回の議会だよりに掲載予定です。

議案等に対する各議員の賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。そのほかについては全会一致で可決されました。

議案等番号	件名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		氏名	杉本 訓規	梨本 洪珪	吉村 始	奥本 佳史	松林 謙司	谷原 一安	内野 悦子	川村 優子	増田 順弘	岡本 吉司	西井 覚	藤井本 浩	吉村 優子	下村 正樹	西川 弥三郎
議第82号	葛城市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正することについて	議決結果	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
議第83号	葛城市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正することについて	議決結果	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
議第84号	葛城市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正することについて	議決結果	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○

○：賛成

●：反対

—：棄権

※議長は表決に加わりません

新人議員研修を受けて

昨年10月22日の葛城市議会議員選挙により、新人議員6名が誕生しました。実に議員の4割が入れ替わった計算です。厳しい選挙戦を潜り抜けて今後は、葛城市を良くするといふ共通の目的のために、切磋琢磨し続ける必要があります。

新人議員それぞれに、バックボーンとなる職歴や人生経験がある訳ですが、議員として一人前になるためには、相応の勉強が必要なのは言うまでもありません。その議員としての基本を学ぶ「新人議員研修」が、11月14日と15日の二日間に渡って開催されました。

初日は座学で、各担当部局ごとに所管の事業内容と予算についての説明をいただきましたが、正直なところ、限られた時間内では概略の説明に終わることがほとんどで、消化不良の感は否めませんでした。しかし、行政が法律に基づいて動いているという基本を再認識することができました。

翌日は一転して、市内の公共施設の視察です。当初の予定に入っていないなかった施設も含め、暗くなるまでみっちり各所を回りました。



「百聞は一見に如かず」と言うように、前日の座学ではイメージが湧きにくかった施設も、実際に見学し説明を受け、質問することで様々なことを理解でき、問題点も浮かび上がってきました。中でも特に気になるのが、市内に同じ目的を持つ施設が複数存在し、それぞれが老朽化等の問題を抱えていることでした。旧二町が合併して既に13年が過ぎた今、先送りしてきた課題に本気になって向き合う必要があります。新市建設計画に謳われている公共施設の適正配置と整備がほとんど進んでいない現状について、真剣に取り組んでいく必要があるとの意見が多く出ました。

未来の市議会議員・市長かな？

平成30年1月31日、葛城市立新庄小学校6年生の児童が、授業の一環で葛城市役所新庄庁舎の施設見学に来られました。当日は市役所1階から5階まで各課を見学し、最後に5階議場におきまして、児童からの質問コーナーを設けました。

「なぜ議員になろうと思ったのですか。」や「他の議員さんと意見が対立したときや反対されたとき、腹がたちますか。」など子どもらしい素朴な質問がありました。

葛城市の未来を担う子どもたちこれからも頑張ってもらえるようエールを送りました。

編集後記

『議会だより』の編集に参加して、言葉の重みを強く実感しています。市民の皆様は議会に興味をもっていただけるように、わかりやすく伝えたいと考えます。しかし、もっと大事なことが「言葉の正確さ」です。

私は以前、趣味で葛城市内の情報発信サイトを運営していました。今にして思えば、読者の興味をひくためにセンセーショナルな言葉を好んで使っていたことがありました。その表現が的確だったのか、読者に正しく伝えようとする配慮が十分だったのかと考えると、反省すべき点があったと思います。

雰囲気優先で実体の伴わない言葉を安易に使うと、発言そのものが空疎になってしまいます。自らの言葉の重みを常に忘れず、議会に臨んでいきたいと思えます。(よし)

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 増田 順弘 |
| 副委員長 | 吉村 始 |
| 委員 | 杉本 訓規 |
| 〃 | 梨本 洪珪 |
| 〃 | 奥本 佳史 |
| 〃 | 松林 謙司 |
| 〃 | 谷原 一安 |
| 〃 | 川村 優子 |

◇次号の議会だより(6月1日発行予定)は、3月定例会の概要などをお知らせします。